

# 主な議案 6月 定例会

今回は、刈谷市立学校設置条例の一部改正について及び刈谷市税条例の一部改正についてなどです。

質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

## 報告案件

### 単行議案

#### ■平成28年度継続費の繰越しについて

継続費とは、数年度にわたり予算を支出するもので、完了までに期間を要する事業に適用します。経費の総額や年割額はあらかじめ決められていますが、事業の進行状況により、順次繰り越して支出します。

◇一般会計◇  
・小垣江東小学校大規模改修事業  
・刈谷東中学校改築事業  
・特別支援学校建設事業  
・歴史博物館建設事業  
・第一学校給食センター建設事業

継続費の総額 91億9,953万8千円  
29年度への繰越額 22億7,542万8千円  
■平成28年度繰越明許費の繰越しについて  
繰越明許費とは、天候不順、交渉の不調などにより事業の完了が遅れた場合、翌年度に限り予算を繰り越して支出できるものです。

◇一般会計◇  
個人番号通知・個人番号カード交付事業、東刈谷幼稚園大規模改修事業など22件  
繰越総額 23億1,322万8千円

【企画総務委員会関係・3議案】  
・刈谷市職員退職手当支給条例の一部改正について  
・刈谷市税条例の一部改正について  
・刈谷市都市計画税条例の一部改正について

【福祉産業委員会関係・1議案】  
・刈谷市国民健康保険税条例の一部改正について

【建設委員会関係・2議案】  
・訴えの提起について(市営住宅明渡し等請求事件)  
・工事請負契約の締結について(下重原住宅1期増築等(建築)工事)

【市民文教委員会関係・7議案】  
・工事請負契約の締結について(東刈谷幼稚園大規模改修(建築)工事)  
・工事請負契約の締結について(日高保育園大規模改修(建築)工事)  
・工事請負契約の締結について(小高原小学校北舎大規模改修(建築)工事)  
・工事請負契約の締結について(富士松中学校他1校空調設備設置工事)  
・工事請負契約の締結について(刈谷南中学校他1校空調設備設置工事)  
・刈谷市立学校設置条例の一部改正について  
・刈谷市学校給食センター条例の一部改正について

【補正予算関係・1議案】  
・平成29年度刈谷市一般会計補正予算(第1号)(※)

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

## 条例議案

### ■刈谷市税条例の一部改正について

軽自動車税に関する改正内容はどのようなものか。

【答】 環境性能に優れた軽自動車(グリーン化特例)の対象となる軽自動車の環境性能の見直しを行うとともに、平成31年度課税分までの2年間、制度を延長する。

【問】 固定資産税の課税標準の特例割合を条例に定める理由は何か。

【答】 家庭の保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業に関する特例割合は地方税法に規定されていたが、軽減割合を一定の範囲内で条例で定めることとなったため、地方税法に規定されていた割合と同じ割合を条例に規定するものである。

【問】 国民健康保険税の軽減制度における所得基準額を改め、軽減世帯の拡充を図る。

【問】 今回の見直しで、5割及び2割軽減の対象世帯数はそれぞれどのように変わるか。

【答】 平成28年度の状況で試算した場合、5割軽減の対象世帯数は、1,731世帯から1,761世帯となり、30世帯増加する見込みである。また、2割軽減の対象世帯数は、1,831世帯から1,901世帯となり、70世帯増加する見込みである。

【問】 条例改正による、国民健康保険税の軽減総額と市への影響は。

【答】 軽減総額は、平成28年度の状況で試算すると、約2億8,040万円から約2億8,307万円となる。保険税収は約2億6,700万円の減収となるが、国民健康保険法の規定で、減収分のうち、県が4分の3、市が4分の1を負担することとなっているため、市の負担額は約67万円である。

【問】 刈谷市立学校設置条例の一部改正について

刈谷市立刈谷特別支援学校を設置する。

【問】 保護者向けに開催された事前説明会の内容はどのようなものだったのか。

【答】 説明会では、児童生徒への教育内容、医療的ケアの実施体制、児童生徒の受け入れ時間、761世帯となり、30世帯増加する見込みである。また、2割軽減の対象世帯数は、1,831世帯から1,901世帯となり、70世帯増加する見込みである。

【問】 看護師を直接雇用するのは、市内の医療機関の看護師が学校内に常駐し、医療的ケアを実施する体制を整える。このことにより、安定した看護師の確保を図る。

【答】 看護師を直接雇用するのはなく、市内の医療機関の看護師が学校内に常駐し、医療的ケアを実施する体制を整える。このことにより、安定した看護師の確保を図る。

【問】 軽減措置を拡充するもの(平成29年度課税から)

(1) 5割軽減の対象となる世帯  
改正前 33万円+26.5万円×被保険者数  
改正後 33万円+27万円×被保険者数  
(2) 2割軽減の対象となる世帯  
改正前 33万円+48万円×被保険者数  
改正後 33万円+49万円×被保険者数  
※金額は軽減対象となる世帯の所得基準額(世帯の合計所得)



## 6月定例会提出議案の賛否について

賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対 -：欠席)



議案名及び議決結果	副議長(※)		議長(※)		清風クラブ		日本共産党議員団		公明クラブ		自民クラブ		市民クラブ		真政クラブ		会派名及び議員名		
	前田 秀文	星野 雅春	星野 雅春	星野 雅春	星野 雅春	星野 雅春	星野 雅春	星野 雅春	星野 雅春	星野 雅春	星野 雅春	星野 雅春	星野 雅春						
平成29年度刈谷市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は、採決に加わりません。

今後の教育相談などについて説明をした。  
【問】 医療的ケアの体制が非常に重要だが、看護師不足と言われる中、どのように看護師を確保するのか。  
【答】 看護師を直接雇用するのはなく、市内の医療機関の看護師が学校内に常駐し、医療的ケアを実施する体制を整える。このことにより、安定した看護師の確保を図る。

【問】 バスケットボール女子日本代表国際強化試合を開催するに至った経緯は。  
【答】 本市は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでのバスケットボール競技出場国の事前キャンプ地の誘致活動を行っており、誘致に向けウイングアリーナ刈谷をさらに国内外にPRするため、日本バスケットボール協会へ国際試合の開催を要請していた。協会からは、ウイングアリーナ刈谷が国際試合を開催するのにふさわしい施設であると評価され、今回の開催が実現した。

【問】 耐震シエルトを設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

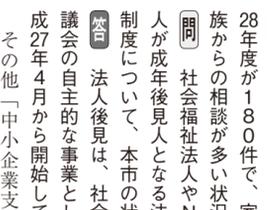
【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

【問】 市民文教委員会の運営状況  
【答】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は、平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

【問】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。  
【答】 「待機児童」「学校給食における食育」などが話し合われました。

【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。



## 委員会の動き

### 企画総務委員会

刈谷市まちなかマネジメント構想(刈谷市駅・亀城公園周辺エリア編)  
【問】 構想に示された取り組みはどのように進められるのか。  
【答】 本構想も踏まえ、今年度「中心市街地まちづくり基本計画」を策定しており、その中で今後の基本的な整備方針を示したいと考えている。  
【問】 刈谷球場を移転させる方針があるのか。  
【答】 移転方針は決まっていないが、将来、改築の際は現地での再築か移転改築も含めて検討する必要があると考えている。その他「働き方の課題」「普通財産の管理」「大規模鉄道災害の対応」などが話し合われました。

### 福祉産業委員会

刈谷市成年後見支援センター  
【問】 平成27年4月から市の委託で社会福祉協議会が運営している成年後見支援センターの相談実績は。  
【答】 平成27年度が112件、28年度が180件で、家族や親族からの相談が多い状況である。  
【問】 社会福祉法人やNPO法人が成年後見人となる法人後見制度について、本市の状況は。  
【答】 法人後見は、社会福祉協議会の自主的な事業として、平成27年4月から開始している。その他「中小企業支援」「国民健康保険広域化」「農業支援事業」などが話し合われました。

### 市民文教委員会

夢と学びの科学体験館の運営状況  
【問】 ブラネタリウムを平日にさらに活用するための対策は。  
【答】 平日に市内の児童生徒に對して学習投映を行っているほか、未就園児向けの「ちびっこプラネタリウム」など、工夫した投映を実施している。  
【問】 今後どのような特別企画展に取り組んでいくのか。  
【答】 体験コーナーやだまし絵作品展示等を予定している。

### 建設委員会

耐震シエルト設置費補助制度  
【問】 耐震シエルト設置費補助制度とは、どのような制度か。  
【答】 災害弱者に対する減災化を目的に設けた制度であり、昭和56年以前に建てられ、無料診断の結果が基準値に満たない木造住宅に住んでいる障害者や65歳以上の高齢者が、耐震シエルトを設置する場合、上限30万円を補助するものである。  
【問】 これまでの補助実績は。  
【答】 制度開始以後、補助実績は1件である。

### 農業委員会

農業委員会委員の選任について  
平成29年7月29日の任期満了に伴い、次の方を選任することに同意しました。任期は3年です。  
永田 憲正氏(東境町) 加藤 保広氏(高須町)  
早川 法江氏(西境町) 早川 彰洋氏(泉田町)  
神谷 幹成氏(松坂町) 近藤 庄次氏(西境町)  
山田 友樹氏(井ヶ谷町) 塚本 忠氏(今川町)  
稲垣 定夫氏(野田町) 近藤 利徳氏(小山町)  
二宮 偉吉氏(ツ木町) 加藤 明氏(半城土町)  
伊藤 千春氏(小垣江町) 杉本 常男氏(高松町)